

未来への夢を込めて

5月5日（日曜日） 古川町高野 旧古川スキー場

高野千本桜夢公園整備委員会（岡田善徳代表）は、清流の国ぎふ森林・環境税を活用して古川町高野地内の旧古川スキー場跡で記念植樹を行いました。

この千本桜夢公園は、高野地区の有志「高野森の子会」が平成14年からヤマザクラを植樹してきた公園で、同委員会が主体となり植樹を行い現在までに500本以上の桜が植樹されました。

この日は、同委員会のメンバーや市民、愛知県のボーイスカウト団体、手話サークルの皆さんら約130人が参加し、高さ約4mのヤマザクラ30本をそれぞれグループに分かれて植樹しました。



植樹をする参加者

墨書「令和」揮毫 地元へ感謝

5月1日（水曜日） 市長室

新元号「令和」を揮毫された飛騨市古川町出身の内閣府人事課辞令専門職で書家の茂住修身さんが1日、市役所を訪れ、新たに揮毫された「令和」の書を市に寄贈していただきました。

この日茂住さんは、「青邨」の落款を入れた「令和」の墨書と新元号のいわれになっている万葉集の歌が書かれた色紙を持参され、都竹市長に手渡しました。

茂住さんは「地元にお礼をしたいという思いと、5月1日を無事に迎えられたことも含め本日伺いました。また、こういった作品を目にし親しんでもらえることはとてもうれしい」と語ってくれました。



「令和」の書を手にする茂住さん（左）と都竹市長

発達障がいや身体障がいのある児童を支援

5月7日（火曜日） ハートピア古川

障がい児通所支援サービスを行う放課後等デイサービス「きゃっち」が7日、ハートピア古川内にオープンしそのオープニングセレモニーが行われました。

この施設は、発達障がいや身体障がいのある市内小学生児童を対象に、感覚遊びや生活訓練運動など行い、生活障がい改善できるよう支援していきます。

この日は、オープニングセレモニーが同所で行われ、関係者らによるテープカットが行われました。都竹市長は「このサービスを通じて、子どもたちが楽しみながら、そして保護者の皆さんたちと考え方や目指す方向など共有しながら成長していったらいい」とあいさつしました。



テープカットを行う関係者ら

安望藤園「第4回藤まつり」の花と春を楽しむ

5月6日（月曜日） 古川町 安望藤園

第4回藤まつりが6日、古川町上気多の安望藤園で行われ、多くの地域住民や観光客でにぎわいました。

安望藤園は、平成26年の豪雪で被害を受けた後、飛騨信用組合で修復・整備され、昨年3月には、市民の憩いの場として活用してほしいと同組合より市へ寄付していただきました。

この日は、藤棚の一部で花が咲きはじめたばかりでしたが、地元バンド演奏やステージショーが会場を盛り上げました。また、写真撮影会やバザー、だんごまきも行われ、訪れた観光客らは、藤を楽しんだり、ステージショーを見るなどまつりを楽しみました。



藤棚を眺める和服モデル

災害時の石油類燃料供給に関する協定締結 害時に円滑な燃料供給体制を確保

5月14日（火曜日） 市役所

市と岐阜県石油商業協同組合飛騨支部の間で、災害時における石油類燃料の供給に関する協定締結式が14日、市役所で行われました。

この協定は、市内で災害が発生した場合に緊急車両や避難所、各庁舎などの非常用発電機に使用する石油類燃料を優先的に供給することや、災害時に円滑な燃料供給体制を確保できるよう平時から相互に協力するものです。

協定式では、同組合の田中聖一飛騨支部長と都竹市長が出席し、それぞれ調印を行った後、協定書を取り交わしました。



協定書を手にする田中飛騨支部長（右）

百 堀きょうさん百歳褒賞 歳おめでとうございます

5月8日（水） 飛騨古川さくらの郷

古川町杉崎の堀きょうさんが百歳を迎えられました。

これに合わせ、市民福祉部の柚原部長らが飛騨古川さくらの郷を訪問し、褒賞金と花束を堀さんに贈呈しました。

この日は、ご家族や施設の職員、入居者の方々が集まり、メッセージボードやくす玉割りなどで、堀さんの百歳をお祝いしました。

柚原部長は「百歳おめでとうございます。これからも健康でお元気でいてください」とお祝いの言葉を贈りました。



ご家族と記念撮影

飛 飛騨市長と巡る飛騨市バスツアー 騨市の魅力を伝える

5月25日（土） 飛騨市内

市と月刊ぶらざとのコラボツアー企画「飛騨市長と巡る飛騨市ツアー」が25日、市内で行われました。

このツアーは、市の魅力を知ってもらおうと岐阜で生活情報誌を制作している月刊ぶらざと市が協働し開催され、今回で2回目の開催となりました。

この日は、岐阜方面から40人が参加し、2グループに分かれてひだ宇宙科学館カミオカラボと江馬氏館跡庭園を見学しました。昼食会場では、ツアーの目玉でもある老舗料理旅館ハツ三館での豪華ランチを堪能。昼食後には都竹市長が古川町内の屋台蔵、瀬戸川などの歴史や文化などを案内し、飛騨市の魅力を伝えました。



ツアーに参加した皆さん

宇 東京大学宇宙線研究所へ若手支援基金を贈呈 宇宙物理学に大きく貢献できるよう

5月22日（水） 神岡振興事務所

東京大学宇宙線研究所若手支援基金への贈呈式が22日、神岡振興事務所で開かれ、東京大学宇宙線研究所、神岡商工会議所や市関係者らが出席しました。

この贈呈式は、東京大学と市との連携協定により、神岡商工会議所の会員企業5社がスーパーカミオカンデ等に関連する新商品を販売し、その売り上げの一部を同研究所の若手研究者支援を目的とした基金へ寄附を行ったものです。

この日は、同研究所副所長の中畑雅行氏、神岡商工会議所会頭の亀谷豊氏らが出席。売上金の一年分の寄付金259,676円の目録書を亀谷会頭から中畑副所長に手渡されました。



目録を手にする亀谷会頭（左）と中畑副所長（右）



飛騨市

Facebook 公式アカウント

飛騨市役所

まちの話題に掲載しきれないイベントや写真は市の公式Facebookで配信。



ウ 飛騨市健康ウォーキングガイド協会設立 ウォーキングで健康寿命延伸を図る

5月27日（月） 市役所

ウォーキングを通して健康寿命延伸や交流人口の増加を図る「飛騨市健康ウォーキングガイド協会」の設立総会が27日、市役所で開かれ関係者ら13人が出席しました。

ガイド協会は、市で進める「クアオルト健康ウォーキング」の実践指導者や普及ガイドの皆さんが中心となって協会を立ちあげ、今回はその設立総会が開かれました。

総会では、実践指導者の田中博さんが議長を務め、協会規約、役員選出などの議事を行い、会長に牛丸洋子さん、副会長に青木和子さん、事務局長に武藤浩一さん、監事に吉川慶さんが選ばれました。



飛騨市健康ウォーキングガイド協会の皆さん

飛 カフェトレッキング in 安峰山 驛の森でカフェタイムを楽しむ

5月27日（月） 安峰山

森の中でスイーツやコーヒーを楽しむ「カフェトレッキングin 安峰山」が27日、古川町の安峰山で行われました。

このツアーは、市の第三セクター「飛騨の森でクマは踊る」と下呂市小坂町の合同会社「216WORKS」が共催し、同市萩原町のケーキ店「ジークフリード」のオーナーシェフ北條達也さんの協力で行われました。

この日は、県外から4人が参加。鳥や植物を観察しながら山頂を目指しました。山頂では、北條シェフがその場で Milfie を作り、参加者に振る舞いました。参加者は、山頂からの景色を眺めながらスイーツを食べたり、特設されたハンモックでカフェタイムを楽しみました。



山頂でカフェタイムを楽しむ参加者

寄 企業版ふるさと納税を活用し飛騨市へ寄附 附をいただいた2社へ感謝状を贈呈

企業から企業版ふるさと納税を活用した寄附をいただきました。

この寄附は地方創生の取り組みの一環として、民間企業が、積極的な寄附を行える仕組み「地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）」を活用したもので、飛騨宇宙最先端科学パーク構想推進事業（宇宙物理学研究紹介展示施設「ひだ宇宙科学館カミオカラボ」）の整備財源に充てられました。

また、ひだ宇宙科学館カミオカラボは10連休中、約2万人のお客さんが来場するなど、順調な滑り出しをみせています。

田辺三菱製薬(株) 寄附額100万円

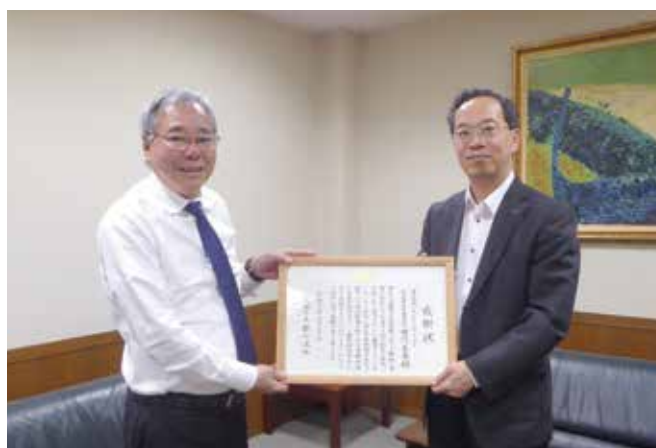
5月9日（木） 大阪府 田辺三菱製薬(株)



感謝状を手にする三津家正之代表取締役社長（右）

(株)バローホールディングス 寄附額500万円

5月20日（月） 多治見市 (株)バローホールディングス



感謝状を手にする田代正美代表取締役会長（左）